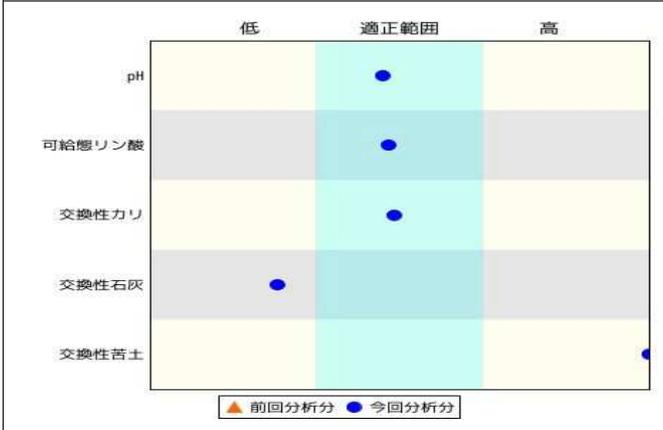


様	依頼先	広域土壌分析センター岩手	所属	JA	JAいわて花巻	受付日	2023/01/12
	サンプルNo	5045				支店	花巻地域営農グループ

■ 詳細情報

圃場		面積	10a	採土場所	石鳩岡	採土日	
作物	イネ科牧草	品種		栽培様式	作型	土性	
土壌種類		採土時期		作土深	農家コード		

■ 分析結果グラフ



■ 分析所見

- ・pHは適正です。
- ・可給態リン酸は適正です。リン酸肥料は標準量(補給型)を施用します。
- ・交換性加里は適正です。加里肥料は標準量(補給型)を施用します。
- ・交換性石灰が不足しています。土壌改良が必要です。
- ・交換性苦土が多くなっています。
- ・石灰苦土比が低くなっています。バランスに注意しましょう。
- ・苦土加里比が高くなっています。バランスに注意しましょう。

■ 分析結果

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
pH	-	6.2		6.0~6.5	
EC	mS/cm	0.05			
可給態リン酸	mg/100g	17.0		7.0~30.0	
交換性カリ	mg/100g	34.0		19.1~50.9	
交換性石灰	mg/100g	361 ▼低い		378.5~454.3	
交換性苦土	mg/100g	119 ▲高い		70.7~81.6	
CEC	me/100g	27.0			
石灰飽和度		48			
苦土飽和度		22			
加里飽和度		3			

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
塩基飽和度		72			
Ca/Mg 比		2.2			
Mg/K 比		8.2			

■ 土づくり肥料 目安施肥量

	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
10aあたり(kg)	0.0	55.4	0.0	0.0		

■ 特記事項

- ・作土深は10.00cmで計算しています。・仮比重は1.00で計算しています。
- ・土壌図(農研機構:日本土壌イベントリー土壌図、<<https://soil-inventory.rad.naro.go.jp/>>)から土壌の種類を推定できます。
- ・資材量が300kg/10aを超えるときは、数年かけて計画的に改良しましょう。
- ・CECが15me/100g未満の場合には15me/100g、40me/100g以上の場合には40me/100gとして資材量を計算しています。(水稻を除く、CEC値の大小による資材量の過少や過多を防ぐため)
- ・分析値が有効態リン酸1,000mg/100gを超える場合には1,000mg/100g、硝酸体窒素50mg/100gを超える場合には50mg/100gと表示しています。(分析上限値のため)

■ 土づくり肥料と投入量 圃場あたり(kg)

肥料銘柄	重量	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
タンカル(粒状)	110	0.0	55.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計		0.0	55.0	0.0	0.0	0.0	0.0
過不足		0.0	-0.4	0.0	0.0		

■ コメント

- 交換性苦土が高いことから、この成分を含む肥料と思われる過剰施用の傾向が見られます。
- 左の表は、不足分を補う(土壌改良分)土づくり資材です。(元肥に追加、今回限り)
- 定期的に土壌診断を実施し、過不足している成分を確認しましょう。

■ 土づくり肥料

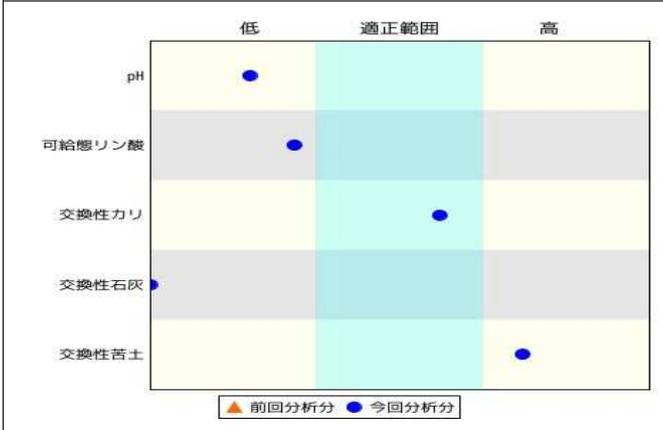
タンカル(粒状)

様	依頼先	広域土壌分析センター岩手	所属	JA	JAいわて花巻	受付日	2023/01/12
	サンプルNo	5046				支店	花巻地域営農グループ

■ 詳細情報

圃場		面積	10a	採土場所	石鳩岡	採土日	
作物	イネ科牧草	品種		栽培様式	作型	土性	
土壌種類		採土時期		作土深	農家コード		

■ 分析結果グラフ



■ 分析所見

- ・pHが低くなっています。
- ・可給態リン酸が不足しています。土壤改良を行い、リン酸肥料は標準量(従来型)を施用します。
- ・交換性加里は適正です。加里肥料は標準量(補給型)を施用します。
- ・交換性石灰が不足しています。土壤改良が必要です。
- ・交換性苦土が多くなっています。
- ・石灰苦土比が低くなっています。バランスに注意しましょう。
- ・苦土加里比は適正です。

■ 分析結果

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
pH	-	5.8 ▼低い		6.0~6.5	
EC	mS/cm	0.05			
可給態リン酸	mg/100g	4 ▼やや低い		7.0~30.0	
交換性カリ	mg/100g	37.0		16.5~44.1	
交換性石灰	mg/100g	241 ▼低い		328.1~393.7	
交換性苦土	mg/100g	73.0 ▲高い		61.3~70.7	
CEC	me/100g	23.4			
りん吸	-	1210			
石灰飽和度		37			
苦土飽和度		16			

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
加里飽和度		3			
塩基飽和度		56			
Ca/Mg 比		2.3			
Mg/K 比		4.6			

■ 土づくり肥料 目安施肥量

	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
10aあたり(kg)	22.7	119.	0.0	0.0		

■ 特記事項

- ・作土深は10.00cmで計算しています。・仮比重は1.00で計算しています。
- ・土壤図(農研機構:日本土壤イベントリー土壤図、<<https://soil-inventory.rad.naro.go.jp/>>)から土壌の種類を推定できます。
- ・資材量が300kg/10aを超えるときは、数年かけて計画的に改良しましょう。
- ・CECが15me/100g未満の場合には15me/100g、40me/100g以上の場合には40me/100gとして資材量を計算しています。(水稻を除く、CEC値の大小による資材量の過少や過多を防ぐため)
- ・分析値が有効態リン酸1,000mg/100gを超える場合には1,000mg/100g、硝酸体窒素50mg/100gを超える場合には50mg/100gと表示しています。(分析上限値のため)

■ 土づくり肥料と投入量 圃場あたり(kg)

肥料銘柄	重量	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
タンカル(粒状)	240	0.0	120.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重過石	65	22.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計		22.1	120.	0.0	0.0	0.0	0.0
過不足		-0.6	0.1	0.0	0.0		

■ コメント

- 交換性苦土が高いことから、この成分を含む肥料と思われる過剰施用の傾向が見られます。
- 左の表は、不足分を補う(土壤改良分)土づくり資材です。(元肥に追加、今回限り)
- 定期的に土壌診断を実施し、過不足している成分を確認しましょう。

■ 土づくり肥料

